

接続指数について

接続指数とは、前基準の指数にリンク係数を乗じて指数水準を修正することによって、基準年の異なる鉱工業指数どうしを比較できるようにした指数のことです。

令和2（2020）年基準では、平成30（2018）年1月～3月の時点で旧基準との接続を行い、接続指数を整備しました。

旧基準指数の使用期間及びリンク係数の算出方法は次のとおりです。

なお、原指数・季節調整済指数いずれを接続する場合においても、リンク係数の算出には季節調整済指数を用いています。

旧基準指数	期間	リンク係数による接続処理の方法			
平成27年基準指数	平成25年～平成29年	l_{27}	=		$\frac{\text{令和2年基準指数の平成30年1月～3月の平均指数}}{\text{平成27年基準指数の平成30年1月～3月の平均指数}}$
平成22年基準指数	平成20年～平成24年	l_{22}	=	$l_{27} \times$	$\frac{\text{平成27年基準指数の平成25年1月～3月の平均指数}}{\text{平成22年基準指数の平成25年1月～3月の平均指数}}$
平成17年基準指数	平成15年～平成19年	l_{17}	=	$l_{22} \times$	$\frac{\text{平成22年基準指数の平成20年1月～3月の平均指数}}{\text{平成17年基準指数の平成20年1月～3月の平均指数}}$
平成12年基準指数	平成10年～平成14年	l_{12}	=	$l_{17} \times$	$\frac{\text{平成17年基準指数の平成15年1月～3月の平均指数}}{\text{平成12年基準指数の平成15年1月～3月の平均指数}}$
平成7年基準指数	平成5年～平成9年	l_7	=	$l_{12} \times$	$\frac{\text{平成12年基準指数の平成10年1月～3月の平均指数}}{\text{平成7年基準指数の平成10年1月～3月の平均指数}}$
平成2年基準指数	昭和63年～平成4年	l_2	=	$l_7 \times$	$\frac{\text{平成7年基準指数の平成5年1月～3月の平均指数}}{\text{平成2年基準指数の平成5年1月～3月の平均指数}}$
昭和60年基準指数	昭和58年～昭和62年	l_{60}	=	$l_2 \times$	$\frac{\text{平成2年基準指数の昭和63年1月～3月の平均指数}}{\text{昭和60年基準指数の昭和63年1月～3月の平均指数}}$
昭和55年基準指数	昭和53年～昭和57年	l_{55}	=	$l_{60} \times$	$\frac{\text{昭和60年基準指数の昭和58年1月～3月の平均指数}}{\text{昭和55年基準指数の昭和58年1月～3月の平均指数}}$

※注意点

- ・ 基準改定による品目の入れ替え等は考慮されていないため、長期間に渡る比較の際には注意が必要です。
- ・ 前月比や前年比なども接続指数を用いて計算できますが、接続処理による誤差が生じてまいります。